



株式会社栗本鐵工所
Kurimoto, Ltd.

ダクトイル鋳鉄管（呼び径300～2600）
Ductile Iron Pipe (DN300~2600)



登録番号
SuMPO-EPD-2512-42-1

検証合格日
2025年12月15日

公開日
2026年1月26日
※更新された場合は初版公開日

検証有効期間
2030/12/14

EPDタイプ
グループ製品EPD

追加の準拠規格
ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025/03/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/03/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	洲上智子（合同会社エフプロ）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければならない。
環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社栗本鐵工所・パイプシステム事業部
住所	大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号
問い合わせ先	06-6538-7731
LCA算定実施者（所属）	株式会社栗本鐵工所 パイプシステム事業部 業務部 企画グループ
事業者概要	栗本鐵工所は、1909年創業の大阪に本社を置く鉄鋼メーカーで、ライフライン事業、機械システム事業、産業建設資材事業を展開。2025年3月期の連結売上高約1,266億円、従業員約2,200名。日本全国に13の工場、8の営業拠点を有する。

●製品情報

製品名称		ダクタイル鋳鉄管（呼び径300～2600）		
製品の型式		GX形、NS形、S形、US形、PN形、UF形、K形、T形、U形		
製品仕様	製品機能	上水道をメインに、大量の水を長距離輸送する管路用。高い強度と延性を持ち、耐震性・耐衝撃性・気密性に優れる。		
	製品質量	331～11180kg	換算係数	－
	製品の用途	主に水道本管や導水管、送水管、農業用水、工業用水等の圧力管に用いられる。		
	技術性能	JIS G 5526「ダクタイル鋳鉄管」、JWWA G 113「水道用ダクタイル鋳鉄管」等に適合。		
耐用年数	年数	60年以上		
	使用条件	一般土壌環境下における埋設配管		
	年数を設定した根拠	国土交通省「参考資料 更新基準の設定事例」		
製造サイト（製造拠点）		株式会社栗本鐵工所 加賀屋工場（大阪市住之江区泉2丁目1番64号）		
製品概要		主に水道本管や導水管、送水管、農業用水、工業用水に用いられる呼び径300～2600のダクタイル鋳鉄製圧力管。		
製品ウェブサイト		https://www.kurimoto.co.jp/product/item/01/010.php		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
ダクタイル鉄管（ダクタイル鋳鉄部分）	≧ 99 %	—
内外面塗料	< 1 %	—
包装材構成要素	割合 (%)	質量
キャップ	100	—

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.00	0.00
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	0.00	0.00

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品	☒ グループ製品	☐ 業界製品
	サイトタイプ	☒ 特定サイト	☐ 複数サイト	
	開示方法	☐ 特定値	☒ 加重平均値	☐ 代表値 ☐ 上限値
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		各製品で使用する1tonあたりの原料は同一、製造サイトも日本の同一サイトであること、また全ての原料投入量、エネルギー等消費量について一次データを収集して算定評価を行っていることから代表性は確保されていると考えられる。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		各製品の製造は全て同一サイトで生産をされており、宣言単位1tonあたりの製造時における各種資材・エネルギー投入量などは同一条件である。したがって算定結果の差異も対象の開示項目において上下10%以内に収まる。		
複数製品EPDの説明		同一サイト・素材・プロセスで製造された呼び径および継手が異なる製品を1tonあたりに換算してEPDを開示している。		

> LCA関連情報

宣言単位	1tonあたり		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	—		
基準フロー (機能単位を満たすために必要な製品数)	—		
システム境界	☒ Cradle-to-Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA 3.2.0.0		
LCIデータベース	IDEA 3.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC第5次評価報告書(IPCC,2013年)100a、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	—		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	栗本鐵工所 加賀屋工場		
一次データ収集期間	2024年4月1日～2025年3月31日		
生物由来炭素の取り扱い	☒ 0/0アプローチ	☐ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	☐ その他
	種類	—	
	購入日	—	
	発行元	—	

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象 —：算定対象外

Environmental Product Declaration for **Ductile Iron Pipe (DN300~2600)**

> アロケーション

一部の原材料、エネルギー、水、廃棄物に関しては、同工場における他製品（異形管）との細分化が困難であり、生産量（重量）に基づき、アロケーションを実施

> カットオフ

カットオフなし

> システム境界

PCRに基づき設定

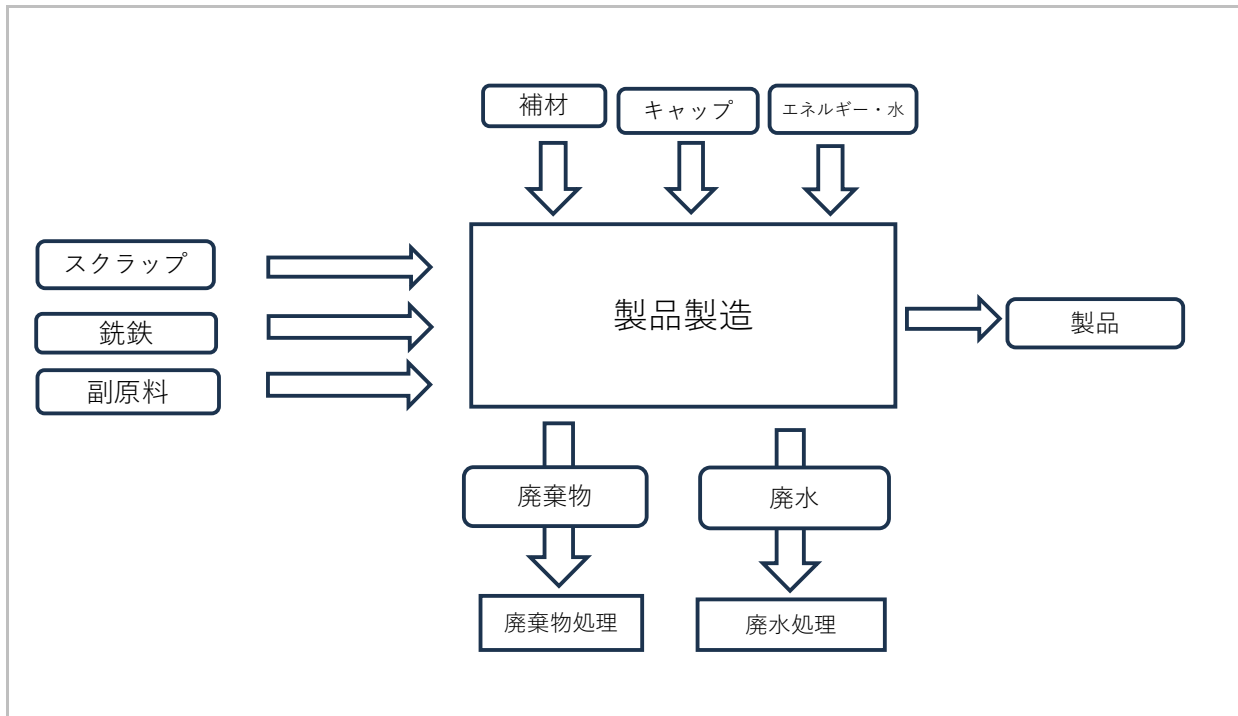
> シナリオ

モジュール	説明
A2	工場への輸送の陸上輸送は輸送距離、トラックトン数、積載率はPCRのシナリオを使用
A3	製造の副資材の輸送および廃棄物の輸送は輸送距離、トラックトン数、積載率はPCRのシナリオを使用

> 電力モデリング

2018年における日本平均の系統電力のデータを使用

> ライフサイクルフロー図



Environmental Product Declaration for **Ductile Iron Pipe (DN300~2600)**

●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		A1_原材料調達（資材製造段階）	A2_工場への輸送（資材製造段階）	A3_製造（資材製造段階）	A4-A5	B-C	D 境界外
気候変動	kg-CO ₂ eq	4.31E+02	9.19E+01	1.36E+03	-	-	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	3.28E-05	1.23E-09	5.76E-04	-	-	-
酸性化	kg-SO ₂ eq	3.89E-01	3.00E-01	1.19E+00	-	-	-
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	1.69E-02	6.42E-04	1.24E-02	-	-	-
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	8.90E-02	9.45E-10	1.76E-02	-	-	-

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		A1_原材料調達（資材製造段階）	A2_工場への輸送（資材製造段階）	A3_製造（資材製造段階）	A4-A5	B-C	D 境界外
非再生可能資源	kg	2.35E+02	9.20E-05	6.59E+01	-	-	-
非再生可能エネルギー	MJ	6.36E+03	1.26E+03	1.93E+04	-	-	-
再生可能資源	kg	4.44E+01	2.34E-05	5.65E+01	-	-	-
再生可能エネルギー	MJ	3.80E+02	3.19E-02	2.18E+03	-	-	-
淡水の消費	m ³	3.37E+00	1.87E-03	2.29E+00	-	-	-

> 廃棄物関連情報

		A1_原材料調達（資材製造段階）	A2_工場への輸送（資材製造段階）	A3_製造（資材製造段階）	A4-A5	B-C	D 境界外
有害廃棄物	kg	-	-	5.10E-02	-	-	-
無害廃棄物	kg	5.96E-01	7.96E-07	1.66E+01	-	-	-
一般廃棄物 埋立物	kg	1.24E-09	1.29E-15	1.11E-08	-	-	-
産業廃棄物 埋立物	kg	5.96E-01	7.96E-07	1.66E+01	-	-	-

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

Environmental Product Declaration for Ductile Iron Pipe (DN300~2600)

> LCA算定結果に関する説明

- ・本算定では、中大口径直管を対象として算出している（付属品を含む）。
- ・1次データの取得年は、2024年度である。
- ・輸送距離・手段が不明な輸送については、PCRのシナリオに従った。
- ・使用した電力の原単位は「電力, 日本平均, 2018年度」である。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

ISO14001認証取得工場にて製造

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—	—	—

建材および建設製品からの危険物質の放出

—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products